

学ぶ文化祭

統計の分析と問題解決の手法を
取り入れた探究活動

大阪暁光高等学校
北辻 研人



はじめに

本校の特長

▶ 看護科2年生 1クラス33名
(男子8名 女子25名)

▶ 学び合う姿勢 (KG賞)

▶ クラス役員(5~10名程度)

▶ 役員会議

体育大会 文化祭など

イベントで仲間づくりを中心にクラス活動

⇒ 学びにつなげる



学ぶ文化祭

▶ クラス単位で展開

役員：テーマ決定・課題・学習会

⇒クラスの中心が学びを深める

クラス：2学期 特設授業を6～7回

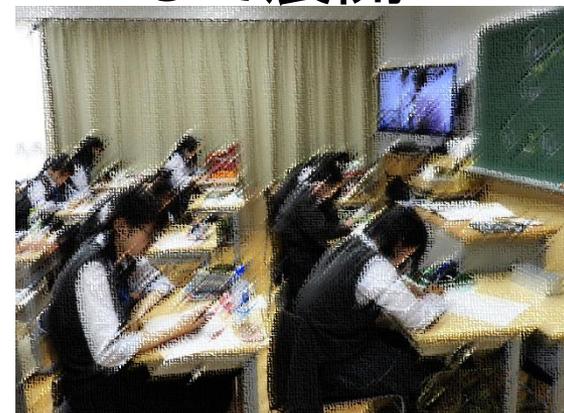
⇒役員が中心となりクラス内で仲間づくりを意識

して展開

▶ 学び合う姿勢を育成する

▶ 10月 展示 発表 映画(動画)等

▶ 模擬店などもテーマに合わせて行う



ホスピスを学ぶ

目 標

- ▶ 終末医療における緩和ケアの理解
- ▶ 患者の生死に向き合う看護師の姿から、患者に寄り添う意味や、その本質に迫ること

実践内容

- ▶ ケーススタディ: 複数の患者と向き合い、問題を解決していく(ホスピスで働くがん看護専門看護師が活動する姿を追った動画)

導入

テーマの設定

- ▶ 役員との話し合い
- ▶ 複数の案から医療関係を希望



夏期課題

- ▶ がんを宣告された日から綴られるブログ
- ▶ 自ら内容を取り上げ、感想を書きとめる
- ▶ Edmodoの使用(効率アップ)



円滑なクラス活動につなげるために

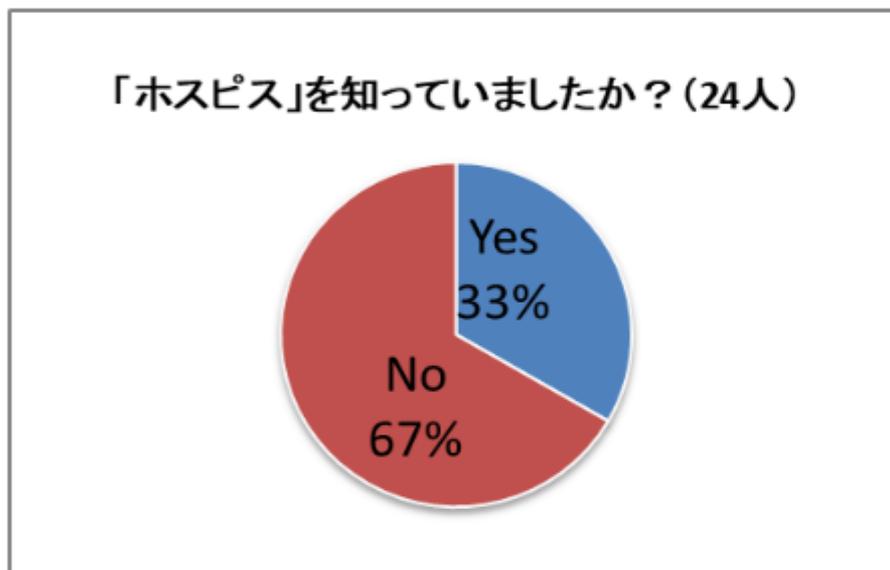
夏休み

- ▶ 役員を中心に文化祭委員を構成
- ▶ 3～5回程度の学習会を設定
- ▶ 役員を中心に学びを深める
- ▶ ⇒2学期以降 役員がクラスを中心となり学び合う



統計の分析

- ▶ アンケートや発問に対する回答について
- ▶ クラスの中で、意見の割合を知る



「思ったより多い」

「思ったより少ない」

ケーススタディ①

がん看護専門看護師、ホスピスで働く姿を追ったドキュメンタリー

- ▶ 肺がんの女性(68歳)自宅に帰ることを許されたが、家に帰ることに不安を抱いている。そこへ看護師が話をしながら一つの希望をみいだす。

【発問】

- ▶ ・何故不安に思っているのか？
- ▶ ・見つけた希望とは？



・何故不安に思っているのか？

自分は治らない病気だと言われていたのに
病態が落ちついたと言われても疑問に思うと
思う。

・見つけた希望とは？

今は不運の底だと思えば今はからは
ラッキーな方向に進むかもしれない

ケーススタディ②

- ▶ ぜつの男性(36歳)自分らしい人生をもう一度と再治療を希望する。

【発問】

- ▶ ・男性の気持ちについて
- ▶ ・会議で「選んでもらうしかない？」と発言していた看護師の気持ちについて



・男性の気持ちについて

私は最後にもう一度治療を受け、もししたらがんが

消えると思ったので「はいいのが好」と思っても

自分らしく生きてたかったんやうか好と思う。

もっと生きてたという気持ちが強いの。

717

・会議で「選んでもらうしかない？」と発言していた看護師の気持ちについて

今苦しいでも完治するわけではなくもししたら本当に死んでしまうかも

しねんから死ぬ前にはどんな苦しい思いして欲しくないから 1人の人間

としては止めを欲しいと思ってると思う。

ケーススタディ③

- ▶ 直腸がん 肝臓に移転 末期男性(56)
- ▶ 6月にある娘の結婚式には間に合わない状況

【発問】

- ▶ 家族の気持ちについて



いきなり、現実味が増して、混乱していると思う。
どうにかして、結婚式を見せあげたいのに、どうすれば
良いのか、やせせない気持ち。

問題提起

56歳男性 直腸がん 余命がわずかであるがそれを本人には告知していない。2人の娘がおり、長女の結婚式が約1か月先にあるが、そこまで持たない。

【問題提起】

- ▶ 「娘の花嫁姿をみたい」という思いに対し、どのように寄り添い対応するかと問題提起した。

ブレインストーミング＋ワールドカフェ

- ブレインストーミング(1人3つ以上)
- ▶デメリットを意識せず、問題解決に向けてブレインストーミングを行った。



- ワールドカフェの導入
- ▶意見が出尽くし、硬直状態
→ワールドカフェの形式

席の移動を促し、生徒同士の交流を活発化し、可能な限り多くの意見がでるようにした。

はじめてのKJ法

- ▶ ブレインストーミングにより、当日出席の28名で合計108の回答があった。
- ▶ 文化祭委員にてKJ法による分類分け
- ▶ 特徴:「看護の視点」
- ▶ 高校2年という段階で、ある一定の看護の専門知識を身に着け、それを持って対応しようという意見が一定数あった。

病院で結婚式を挙げる	27	25.0%
ウェディングドレス姿を見せる	27	25.0%
ウェディングドレスを着た写真を見せる	19	17.6%
思いを伝える	9	8.3%
看護の視点から	4	3.7%
番外編	22	20.4%
合計	108	
	28人参加	



特長 看護の視点

永田さんの 深い痛みを
緩和し、永田さんの「結婚まで
荷が重たい」という思いを尊重
させ、長く生きることが
できるように看護する。

苦痛を緩和し、
1日家族で出かけられる
ような日をつくる。

永田さんの 余命の話を
話し、これから何をしたい
か、一緒に考える。

優しく受け止めて
生きるとともに、
人間の生命力を信じる。

病院で
結婚式を
挙げる

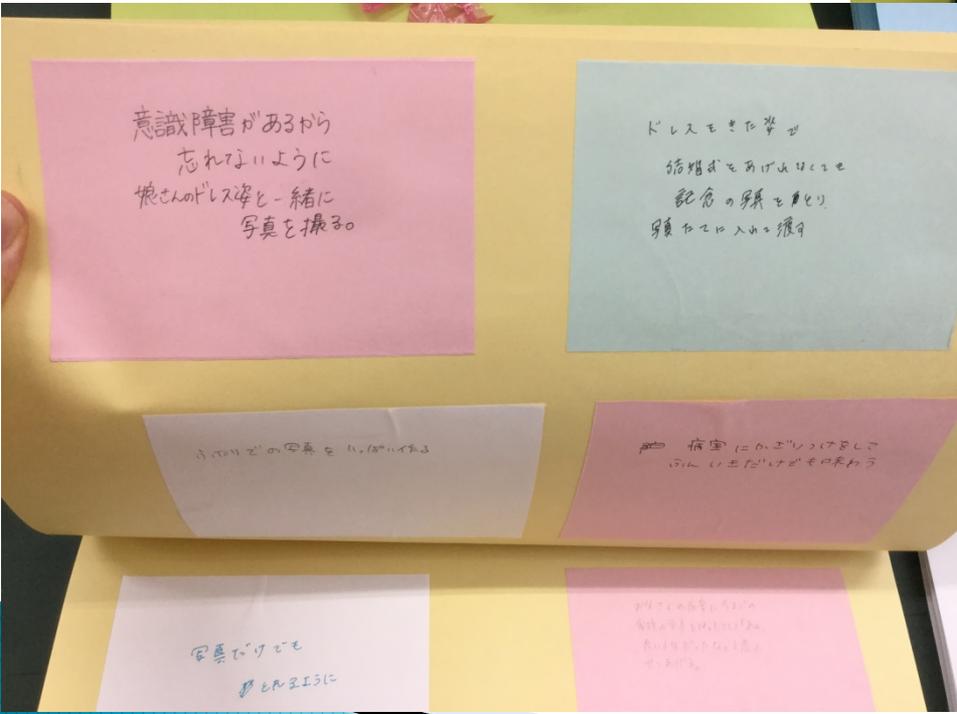
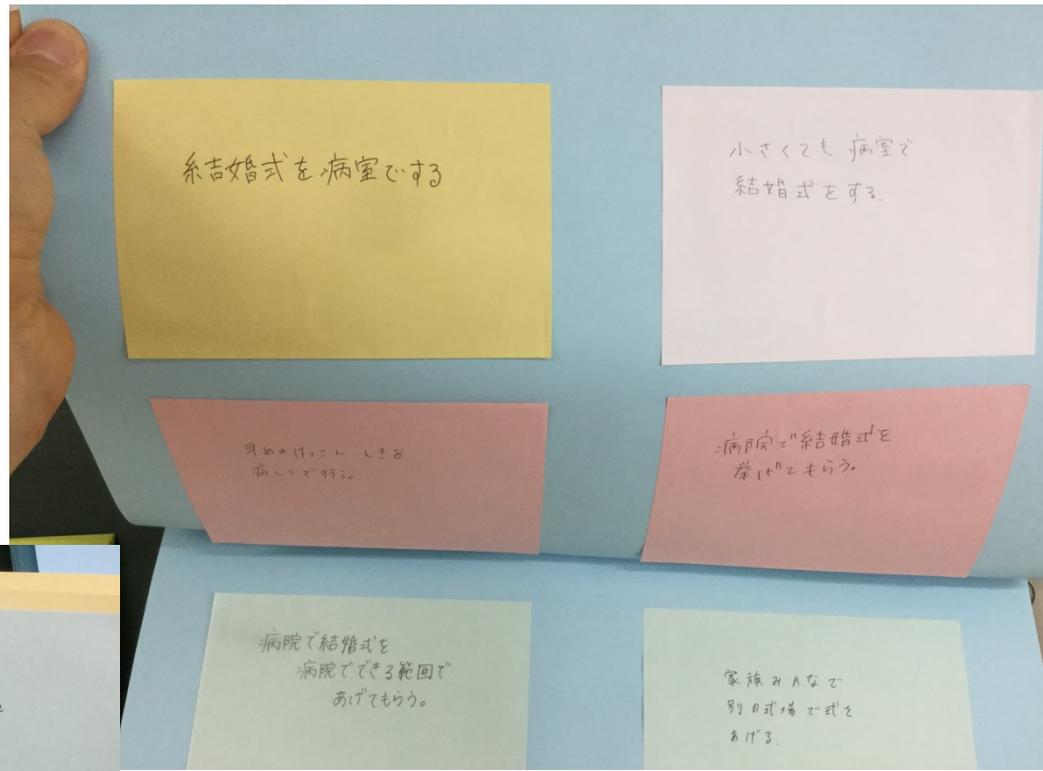
ウェディングドレス
を
着た写真を見せる

看護の
視点から

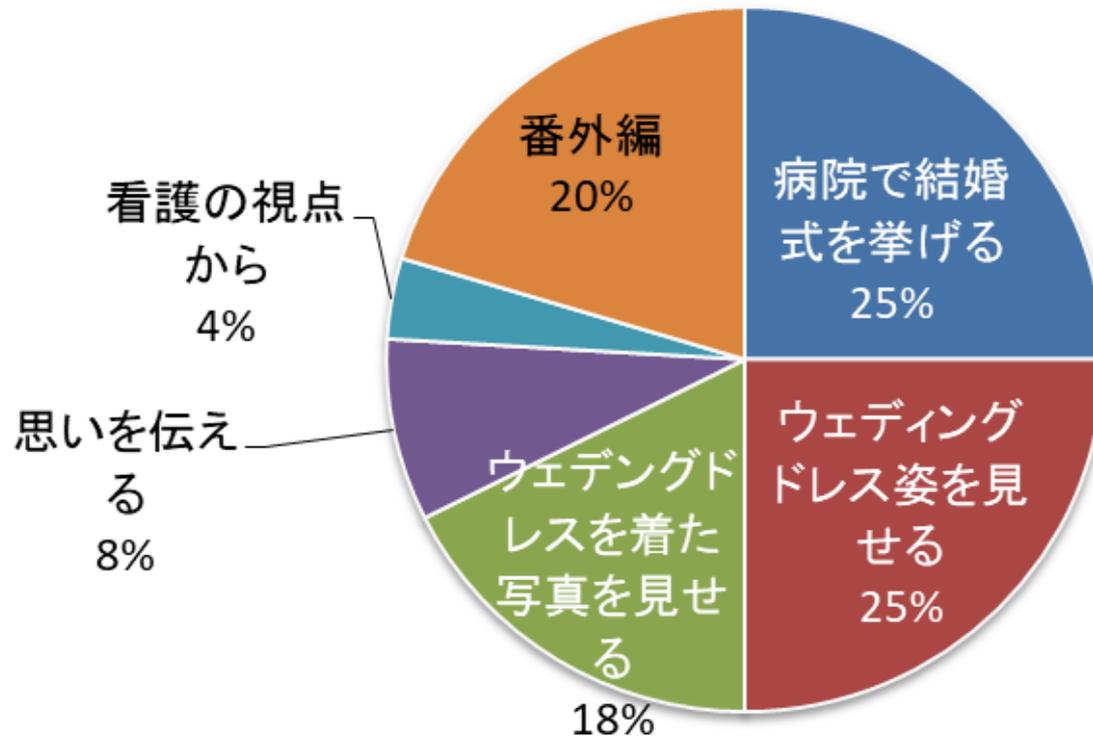
Extra edition
～番外編～

ウエディング
ドレス姿を
見せる

思いを
伝える



娘の結婚式の出席が厳しい状況で
看護師としてどうするか？(全108解答)



問題解決

- ▶ KJ法でまとめられた中から複数の意見を組み合わせるような解答を要求
- ▶ 最終的にどのように問題解決するかを再び各自ワークシートにまとめた。「病院で結婚式を挙げる」と答える生徒が多かったが、複数の意見を反映し新たな解決策を見出した生徒がおり、個々に考えを深める機会となった。
- ▶ 動画内では形式的に親族のみで結婚式を簡素に行い記念写真を撮るというものであった。

永田さんの負担が心配も考え、思い出の残るビデオや写真、
手紙を、作ったり、撮ったりするのはいいと思う。

病室で小さい結婚式を挙げ、思いを伝えること。ついでに写真と
永田さんはドレス姿も見せたい。家族は思いを伝える場が
出来ると良いと思う。

おわりに

"死に納得すれば安らかに旅立つ"

→ 死に納得する心はいつあるのかと思う。

半分締めめようとする気持ちイはなにか。

自分だけの体況に任せていい分がらな。

これだ"心は思うけど、そこに寄り添う"

看護師としての気持ちを感じ取れるように

しようとしていると思う。

当事者意識

寄り添う難しさ

私は、写真を先に撮ることは、結婚式まで生き残
たいということを遠まわしに伝えることとんだって
学びました。簡単に伝えられようだと思っていたので
深くまで考えることが必要な仕事だ」と改めて
感じました。人と接するということは、やっぱり
難しいことだと思いました。

ご清聴ありがとうございました。

北辻 研人

(きたつじ きよと)

▶ kitatsuji@osakagyoko.ed.jp